



ユーザーニーズに応える確かな実績。
今日を見つめ、未来に挑む。

株式会社氷上製作所
代表取締役 足立克好

(株)氷上製作所は昭和38年7月創業以来、兵庫県丹波市の氷上工業団地にて操業しております電子機器メーカーです。

当社の事業は大手電機メーカー様よりの加工受注部門と、設計～量産製造までを請け負うEMS部門とでなっており、主にプリント基板のSMD実装・組立製造を強みとしております。主な製品としては、車載用AV機器、地デジ対応共聴機器、電動自転車用コントローラー、ハイブリッド車用モーターECU等民生機器から産業機器まで多岐に渡っています。



M S 部門で購入している電子部品や機構部品の発

ATAC様とのお付き合いは約10年程前に、現場改善指導と開発部門の技術指導でお世話になりました。以降は空白になっていたのですが、このE

注 - 入荷 - 倉庫 - 払い出しの資材管理において、昨年来より続いている電子部品の長納期化による入荷遅れ対応に日々頭を悩ませており、電子部材在庫削減も併せて、4月よりATAC様のご協力を得て生産管理システムの改善に取り組んでいます。



電子部品の長納期状態はまだまだ続くと予想されるなかで、この生産管理システムの改善により部品調達力の強化とコスト削減が当社の強みとなり、今後の営業活動の強い味方にしたいと考えております。

株式会社氷上製作所
〒669-3464 兵庫県丹波市氷上町石生1767-7
TEL 0795-82-3431(代)
FAX 0795-82-6948
URL <http://www.hikami.co.jp>

ATAC ひと言 中小企業の専門教育 ATACが指導できる専門分野シリーズ

その6 「時代の流れと共に進歩する高分子材料」

1907年高分子材料(プラスチック)が世に出て100年が過ぎ、構造材、機能材としていまや金属材料と並ぶ存在になっていますが、最近でも多くの新しい材料が登場しています。2000年に開発された植物を原料としたポリ乳酸は廃棄後土に返る生分解プラスチックとして注目されましたが今では樹脂の改良加工技術の向上により孔の径が0.2mmという蚊の針のような太さの痛くない注射針までポリ乳酸で出来る時代になってきました。これによって廃棄も簡単になり、不法投棄対策にも役立っています。

アクリル樹脂はガラスより優れた光の透過性や硬さ、耐食性等に優れた特性を生かして光学、照明、自動車関連等広く利用されていますが、最近では携帯電話をはじめモバイル機器の小型化・高機能化に対応してナノメートル精度の光学系レンズへの需要が高まっています。

また、今まで鉄(比重7.8)やアルミニウム(比重2.7)等で出来ていた動力伝達

用プーリーを熱硬化性のフェノール樹脂(比重1.8)に変更することで大幅な軽量化ができ、次世代電気自動車用に期待が寄せられています。

ごく最近、産学官協同研究で鉄より丈夫なプラスチックが開発されたと報じられました。ポリプロピレンの製法を改良したもので、鋼板の強度の2~5倍の強さがあり、自動車の鋼板の代替材としての応用が期待されています。このほか、高強度の炭素繊維を使ったプラスチック複合材はレジャー用品から航空機へと用途を拡大してきていますが、このほど鋼板の10倍の強度、重さ4分の1の軽さになるものが開発され電気自動車への取り組みが進むと思われます。

専門教育シリーズでは、高分子の汎用材料から機能材料まで基礎知識を習得していただくと同時に、上記のような新しい用途を知っていただき今後の開発に役立ててもらおうと考えています。(明石記)